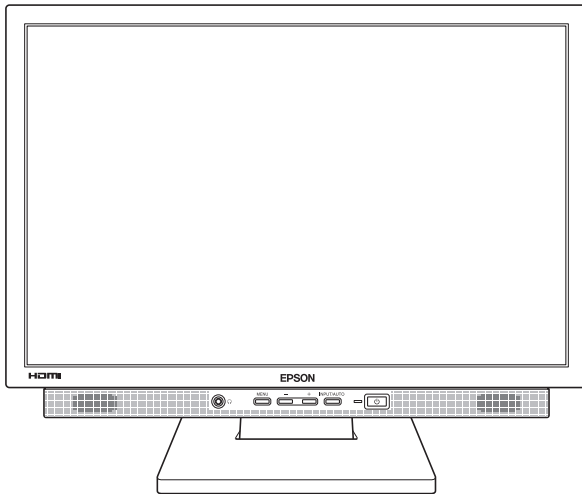


EPSON

22型ワイド液晶ディスプレイ

取扱説明書



LD22W81S


## ご使用前に


- ご使用の際は、必ず本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

## 安全にお使いいただくために


本書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。




 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。








障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
---	-------------------------------------

障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項(指示、行為)を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を必ず接地(アース)して使用することを示しています。

## ⚠ 警告

	<p>交流100V以外の電源は使用しないでください。 交流100V以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。</p>
	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。</p>
	<p>雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。 感電の原因となります。</p>
	<p>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 取り扱いを誤ると、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。</li> <li>・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。</li> <li>・ 電源プラグを長期間コンセントに差ししたままにしない。</li> </ul> <p>電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。</p>
	<p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し、火災の原因となります。 家庭用電源コンセント(交流100V)から電源を直接取ってください。</p>
	<p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電源コードを加工しない。</li> <li>・ 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりしない。</li> <li>・ 電源コードの上に重いものを載せない。</li> <li>・ 発熱器具の近くに配線しない。</li> </ul> <p>電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターにご相談ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。</p>
	<p>本機から異臭や異音がする、発煙するなど、異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。 お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p>

## ⚠ 警告

 	<p>通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。</p>
 	<p>水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。</p>
 	<p>本機の分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。</p>
	<p>アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。 また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。 火災の原因となります。</p>
	<p>電源プラグのアース端子を接地(アース)してください。 感電の危険があります。 アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。 また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。</p>
	<p>アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。 火災の原因となります。</p>
	<p>アース端子をコンセントに挿入または接触させないでください。 感電の危険があります。</p>

## ⚠ 注意

		<p>小さなお子様の手の届くところに設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p>
		<p>不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p>
		<p>湿気やホコリの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。</p>
		<p>本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 設置する際は、次の点を守ってください。 ・ 押し入れや本箱など風通しの悪いところには設置しない。 ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。</p>
		<p>各種コード(ケーブル)は、本書で指示されている以外の配線をしてください。 配線を誤ると、火災の危険があります。</p>
		<p>液晶ディスプレイが破損して、内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、さわったりしないでください。 火傷や化学物質による被害の原因となります。 万一、液体が皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は流水で十分に洗い、医師に相談してください。</p>
		<p>連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
		<p>本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。</p>
		<p>本機を廃棄する場合は、法律に従って正しく処理してください。 液晶ディスプレイに使用している蛍光管(バックライト)には、水銀が含まれています。</p>

## ▶目次

---

本書中の表記について	7
添付品の確認	8
本機の特長	9
各部の名称と働き	10
本機前面	10
本機背面	11
使用時の確認事項	12
コンピュータと接続する	13
設置における注意	13
各種コード（ケーブル）接続時の注意	13
接続方法	14
画面の角度を調整する	20
セキュリティロックスロットを利用する	20
電源の入れ方 / 切り方	21
電源を入れる	21
電源を切る	21
本機の省電力機能	22
表示する	23
解像度を変更する	23
自動画面調整（アナログ入力時）	23
複数のコンピュータの画面を切り替えて表示する	24
音声を出力する	25
ヘッドフォンを使う	25
音量を調節する	25
OSDメニューで調整する	26
OSDメニューの起動と操作	26
OSDメニューのロック	27
メニュー画面の詳細	28
お手入れ	33
外装	33
液晶パネル部分	33
収納するときは	34
困ったときは	36
修理を依頼する前に	37
機能仕様一覧	38
プリセットタイミング（アナログ入力時）	39

## ▶ 本書中の表記について

---

本書では次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 一般情報に関する記号



制限事項です。

機能または操作上の制限事項を記載しています。



本書とは別のマニュアルを示します。

例)『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』:本書とは別に添付されている『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』を示します。



参照ページを示します。



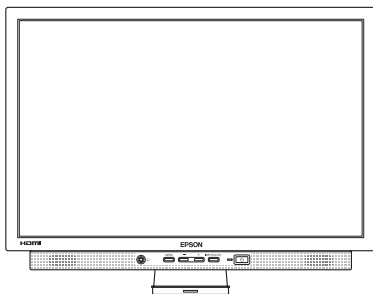
操作手順です。

ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

## ▶ 添付品の確認

22型ワイド液晶ディスプレイ(以下、本機)には、次の添付品が梱包されています。すべて揃っていることを確認してください。万一、不足や不良がございましたら、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧になり、担当窓口へご連絡ください。

梱包箱や梱包材は、輸送時などに備えて保管しておいてください。



LCD ユニット



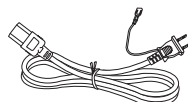
VGA ケーブル



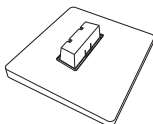
DVI-Dケーブル



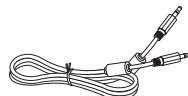
HDMIケーブル



電源コード



スタンド



オーディオケーブル

取扱説明書(本書)

『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』



ケーブルホルダー



## ▶ 本機の特長

---

本機の特長は次のとおりです。

① 表示

22型ワイド表示で、解像度は最大で1680×1050(WSXGA+)、色数は約1677万色表示に対応しています。

② インタフェース

アナログ、デジタル、HDMIの3つのコネクタを装備し、コンピュータに応じた接続ができます。

③ HDMI入力

AV 機器と接続して HD コンテンツ(ブルーレイディスク、HD DVD)などを再生することもできます。

④ マルチ入力対応

3つのコネクタを利用して、本機にコンピュータを3台まで接続できます。接続したコンピュータの画面は切り替えて表示します。

⑤ サウンド機能

コンピュータと接続して、本機のスピーカやヘッドフォンからコンピュータの音声を出力することができます。

⑥ 調整機能(OSDメニュー)

On-Screen-Display(以降、OSD)のメニューにより、本機の様々な調整ができます。

⑦ 省電力機能

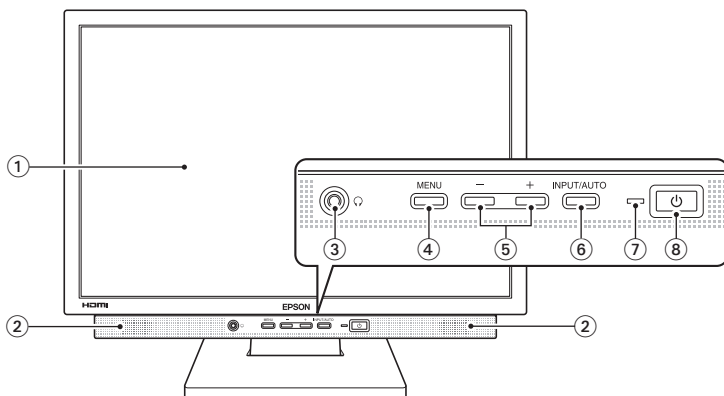
本機を使用していない間、スタンバイ状態にして消費電力を抑えることができます。

⑧ DDC2B(Display Data Channel)

本機はDDC2Bに準拠しています。そのため、本機とコンピュータを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピュータに読み込まれ、最適な表示をすることができます。

## ▶各部の名称と働き

### 本機前面



#### ① 液晶パネル

本機に入力された信号をもとに、文字や画像などを表示します。

#### ② スピーカ

オーディオケーブルで接続したコンピュータの音声を出力します。

#### ③ ヘッドフォン出力コネクタ

本機に入力されたコンピュータの音声を接続したヘッドフォンに出力します。

p.25「音声を出力する」

#### ④ MENUボタン

OSDメニューの表示や、OSDメニューの設定項目の選択などを行います。

p.26「OSDメニューで調整する」

#### ⑤ +ボタン/−ボタン

音量調整をします。

p.25「音声を出力する」

OSDメニューの設定にも使用します。

#### ⑥ INPUT/AUTOボタン

アナログ入力時に長押しすると自動画面調整を行います。

p.23「自動画面調整(アナログ入力時)」

コンピュータを複数接続している場合に表示の切り替えを行います。

p.24「複数のコンピュータの画面を切り替えて表示する」

#### ⑦ 電源表示ランプ

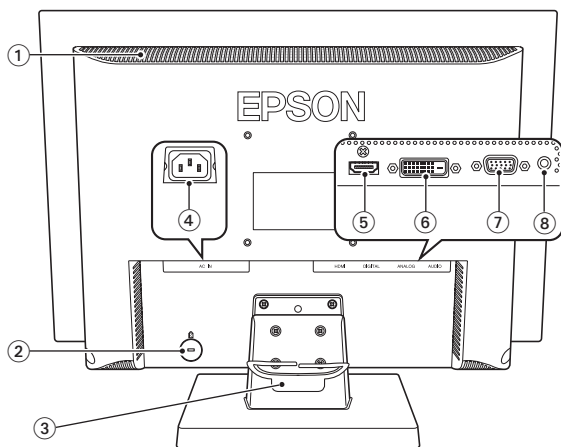
本機の動作状態をランプの色で表示します。

緑色点灯	通常動作
オレンジ色点灯	スタンバイ時
消 灯	電源切断時

#### ⑧ 電源スイッチ

本機の電源の入/切を行います。

## 本機背面



### ① 通風孔

ディスプレイ内部で発生する熱を排出したり、外気を取り入れたりします。

### ② セキュリティロックスロット

市販の盗難抑止ケーブル(ワイヤー)を接続します。

### ③ ケーブルホルダー

ケーブル類を通してまとめておきます。

### ④ 電源コネクタ AC IN

電源コードを接続して電気を供給します。

### ⑤ HDMIコネクタ HDMI

コンピュータなどのHDMIコネクタと、HDMIケーブルで接続して画像を表示します。

### ⑥ DVI-Dコネクタ DIGITAL

コンピュータのDVI-Dコネクタ、またはDVI-Iコネクタと、DVI-Dケーブルで接続して画像を表示します。

### ⑦ VGAコネクタ ANALOG

コンピュータのVGAコネクタと、VGAケーブルで接続して画像を表示します。

### ⑧ ライン入力コネクタ AUDIO

コンピュータのライン出力コネクタと接続して音を取り込みます。

## ▶ 使用時の確認事項

---

本機をお使いになる前に、下記の確認事項を必ずお読みください。また、p.2「安全にお使いいただくために」も必ずお読みください。

- 液晶パネルは、表示する条件により斑点や色むらが目立つ場合があります。また、液晶パネルは非常に高い精度で作られていますが、ごくわずかに画素抜けや常時点灯する画素が存在する場合があります。いずれの場合も、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。



---

### 液晶パネルのドット抜け基準値

本機の液晶パネルのドット\*抜け基準値は、5個以下です。これは、全ドットの0.00009%以下に相当します。

\*「ドット」は副画素(サブピクセル)を指します。液晶パネルでは、1個の画素がRGBの3個の副画素で構成されています。

本機の場合は、5,292,000個の副画素があります。本書に記載しているドット抜け基準値は、SO113406-2に従って、副画素単位で計算しています。

---

## ▶ コンピュータと接続する

本機を使用できる状態にするために、スタンドを取り付けたり、コンピュータと接続する手順について説明します。

### 設置における注意



- 不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。  
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。  
設置する際は、次の点を守ってください。
  - ・ 押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
  - ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

### 各種コード(ケーブル)接続時の注意



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。  
発熱し、火災の原因となります。  
家庭用電源コンセント(交流100V)から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。  
取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
  - ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  - ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。

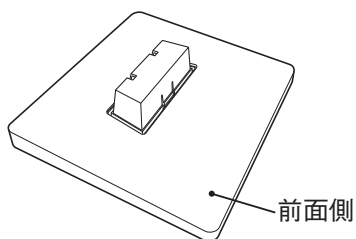


各種コード(ケーブル)は、本書で指示されている以外の配線をしてください。  
配線を誤ると、火災の危険があります。

## 接続方法

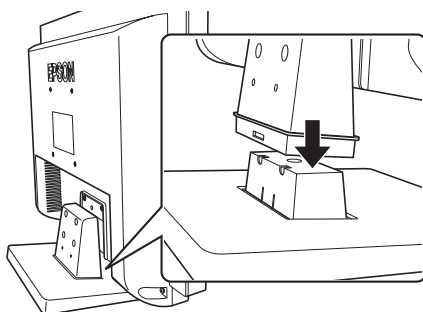
本機の設置とコンピュータとの接続は、次の手順で行います。  
接続するコンピュータに添付のマニュアルも合わせてご覧ください。  
コンピュータに拡張ビデオボードやサウンドボードを装着している場合は、各ボードに添付のマニュアルもご覧ください。  
接続は、本機およびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。

- 1 設置場所(机などの丈夫で水平な台の上)にスタンドを置きます。



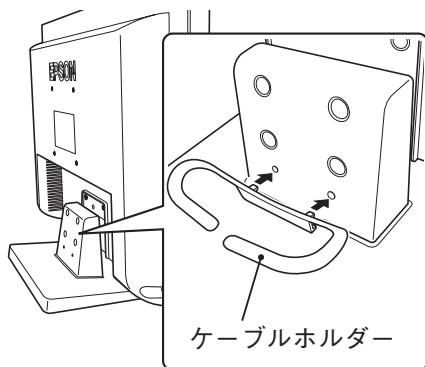
- 2 LCDユニットをスタンドにセットします。

スタンドの前面側にLCDユニットの前面を合わせてLCDユニットを差し込みます。







### 3 ケーブルホルダーを取り付けます。

ケーブルホルダーのフック (2個) をLCDユニットの穴に合わせて押し込みます。



## 4 接続するコンピュータの出力コネクタを確認し、接続方法を選択します。

コンピュータ側が次の出力コネクタを装備している場合に本機と接続できます。コンピュータが複数の出力コネクタを装備している場合も、接続方法は1つだけ選択してください。

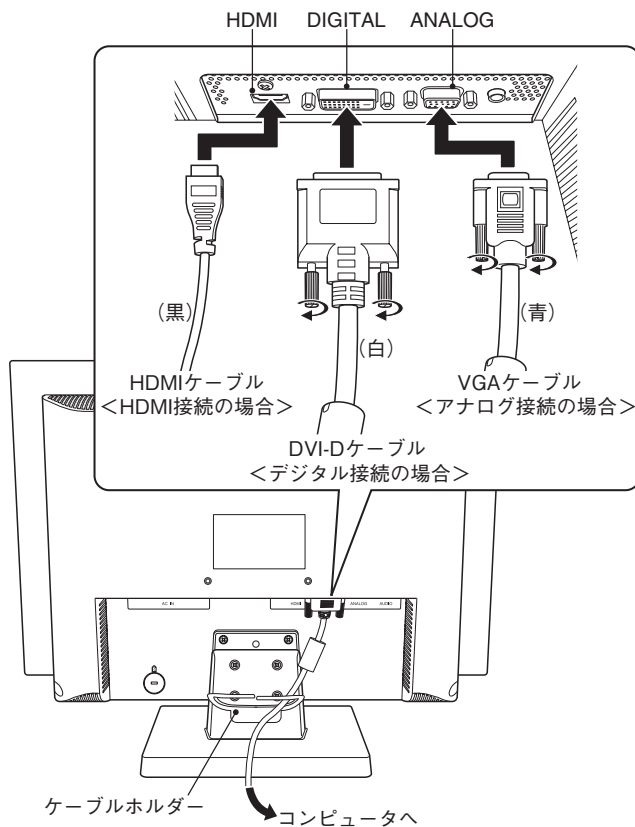
接続方法	コンピュータの出力コネクタ	対応ケーブル
デジタル接続	 <DVI-Dコネクタ>	DVI-Dケーブル
	 <DVI-Iコネクタ>	
アナログ接続	 <VGAコネクタ>	VGAケーブル
HDMI接続	 <HDMIコネクタ>	HDMIケーブル

デジタル接続とアナログ接続では、デジタル接続がより鮮明な画像を表示します。

HDMIコネクタはAV機器などにも装備されています。用途に合わせて利用してください。



- 5** 選択した接続方法で本機とコンピュータを接続します。  
DVI、VGAケーブルは、プラグを差し込んだら両側のネジを回して、コネクタにしっかり固定します。

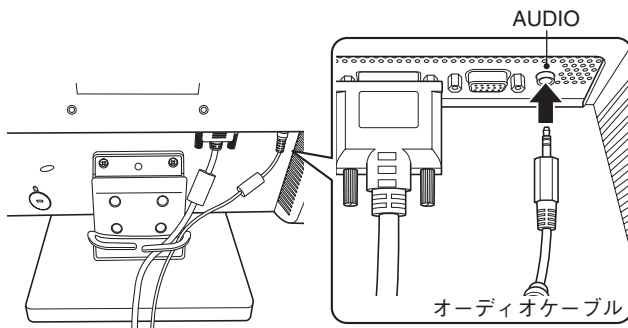


配線をまとめるため、ケーブル類はケーブルホルダーに通しておきます。

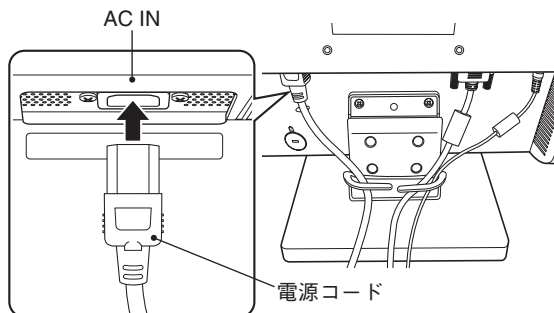
## 6 本機のスピーカを使用する場合は、オーディオケーブルで本機とコンピュータを接続します。

オーディオケーブルで、本機のライン入力コネクタ (AUDIO) とコンピュータ側のライン出力コネクタを接続します。

HDMI接続では、オーディオケーブルを接続する必要はありません。

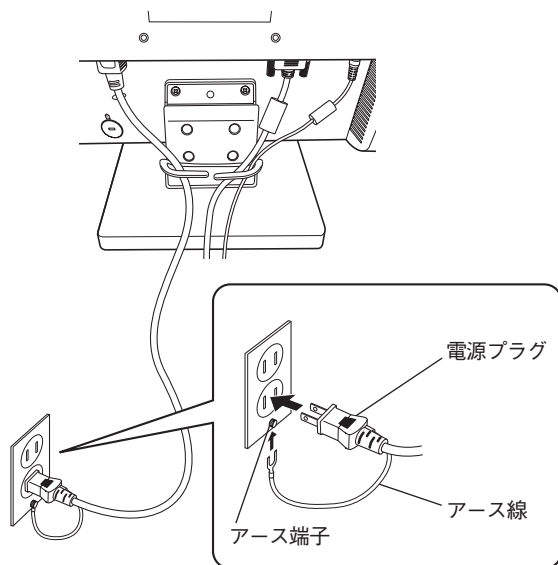


## 7 電源コードを、本機の電源コネクタ (AC IN) に接続します。



## 8 電源コードを電源コンセントに接続します。

電源コードのアース線は、必ずアース端子に接続してください。

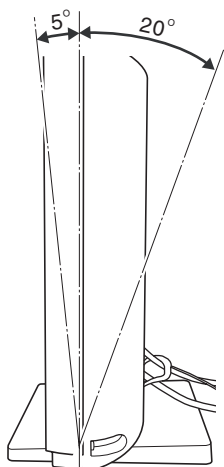


これでコンピュータとの接続は完了です。

## 画面の角度を調整する

本機では画面の角度を調整することができます。

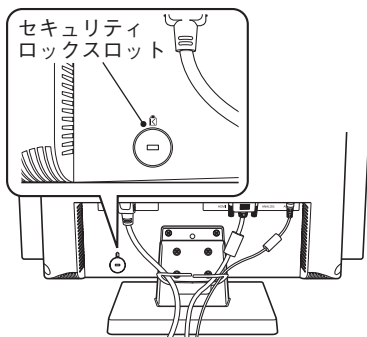
前方に約5° 後方に約20° まで角度を調節できます。



## セキュリティロックスロットを利用する

盗難抑止用ケーブルを、本機につなぐことができます。

セキュリティロックスロットに市販の盗難抑止用ケーブル(ワイヤー)を取り付けます。



## ▶電源の入れ方/切り方

---


本機の電源の入れ方、切り方と省電力機能について説明します。コンピュータの電源の入れ方、切り方は、コンピュータに添付のマニュアルをご覧ください。

### 電源を入れる

電源を入れる手順は次のとおりです。

- 1 本機の電源スイッチ(⏻)を押して、電源を入れます。**  
本機の電源表示ランプがオレンジ色に点灯します。
- 2 コンピュータの電源を入れます。**  
本機の電源表示ランプが緑色に変わり、画面が表示されます。

#### 電源投入後の作業

- アナログ接続ではじめて表示した場合は、自動画面調整を行ってください。  
 p.23「自動画面調整(アナログ入力時)」
- HDMI 接続では起動時に何も表示されません。INPUT/AUTO ボタンを押して画面をHDMI入力に切り替えてください。

### 電源を切る

電源を切る手順は次のとおりです。

- 1 コンピュータの電源を切ります。**  
画面表示が消え、本機の電源表示ランプがオレンジ色に変わります。
- 2 本機の電源スイッチ(⏻)を押して、電源を切ります。**  
本機の電源表示ランプが消灯します。

## 本機の省電力機能

コンピュータの電源が切れていたり、コンピュータ側の省電力機能が働いていたりして、コンピュータから本機への入力信号がない場合は、本機は自動的にスタンバイ(画面表示をしない)状態になります。

本機の各動作状態における消費電力と電源表示ランプの状態は次のとおりです。

動作状態	消費電力	電源表示ランプ
通常動作時	最大58W	緑色に点灯
スタンバイ時 (入力信号なし)	2W以下	オレンジ色に点灯 画面表示は消えます
電源オフ時	1W以下	消灯

コンピュータによる省電力機能の詳細については、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「省電力機能を使う」をご覧ください。


## ▶表示する

本機とコンピュータを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピュータに読み込まれ、最適な表示をすることができます。

### 解像度を変更する

本機の最大解像度は、1680×1050(WSXGA+)です。

解像度の変更は、接続しているコンピュータの画面設定で行います。

 コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』



- アナログ入力時に次の解像度とリフレッシュレートの組み合わせを選択しないでください。何も表示できなくなることがあります。
  - ・800×600 72ヘルツ
  - ・1400×1050 75ヘルツ
- HDMI入力では、1680×1050以上の解像度を選択できる場合がありますが、これらの解像度は正しく表示されません。

### 自動画面調整(アナログ入力時)

「自動画面調整」とは、画面表示を自動で最適な状態に調整する機能です。本機を購入後、はじめてアナログ接続で使用する場合や、アナログ接続しているコンピュータを変更した場合などに行ってください。デジタル、HDMI接続の場合は必要ありません。

自動画面調整では、次の項目を調整しています。

・クロック ・フェーズ ・水平 ・垂直 ・コントラスト

### 自動調整をする

調整は、次の状態で行ってください。

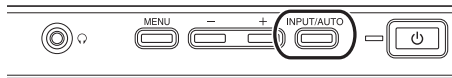
- ・ 本機の電源を入れて30分経過後(動作が安定します)。
- ・ Windowsデスクトップ画面などを表示した状態。




デスクトップ画面の背景が黒色の場合は、自動画面調整を行っても正常に調整されないことがあります。黒色以外の背景を使用し調整を行ってください。

自動調整は次の方法で行います。

**INPUT/AUTOボタンを約2秒押します。**



画面に「自動画面調整中」と表示されます。表示が消えると完了です。調整ができない場合は、OSDメニューから行ってください。

 p.29 「画面調整サブメニュー(アナログ入力時)」-「自動画面調整」

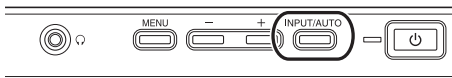
## 複数のコンピュータの画面を切り替えて表示する

アナログ、デジタル、HDMIの各コネクタに別々のコンピュータを接続することで、本機にコンピュータを3台まで接続(マルチ接続)することができます。

接続したそれぞれのコンピュータの画面は切り替えて表示します。

画面の切り替えは、次の方法で行います。

**INPUT/AUTOボタンを押します。**



画面が切り替わるまでに数秒かかります。

INPUT/AUTOボタンを押す度に「アナログ」-「デジタル」-「HDMI」の順に入力画面が切り替わります。






HDMI接続がされていない状態で、HDMI入力に画面を切り替えると、画面に何も表示されなくなります。再度INPUT/AUTOボタンを押してください。

## ▶ 音声を出力する

本機にはスピーカが搭載されています。コンピュータと本機をオーディオケーブルで接続すると、コンピュータからの音声を、本機のスピーカやヘッドフォンから出力することができます。

 p.13「コンピュータと接続する」の手順6

## ヘッドフォンを使う

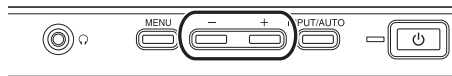
ヘッドフォンを使用するときは、本機前面のヘッドフォン出力コネクタ(○)に接続します。

ヘッドフォンと接続すると、本機のスピーカからの出力が自動的にオフになります。

## 音量を調節する

音量の調整や消音設定は次の方法で行います。

**＋、－ボタンで調節します。**



＋または－ボタンを押すと、音量調整画面が表示されます。



< 音量調整画面 >

- 大きくする : +ボタンを押す
- 小さくする : -ボタンを押す
- ミュート(消音) : +ボタンと-ボタンを同時に押す
- 消音解除 : +ボタンまたは-ボタンを押す

音量調整画面を終了するには、調節後そのまま放置するか(約30秒で画面終了)、MENUボタンを押します。

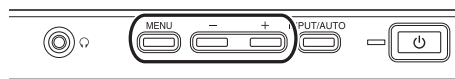
## ▶ OSDメニューで調整する

画面表示位置がずれているので調整したい、画面が暗いので明るくしたいなど、画面に関する詳細設定は、OSDメニューで行います。OSDメニューで設定できる項目の詳細は、p.28「メニュー画面の詳細」をご覧ください。

### OSDメニューの起動と操作

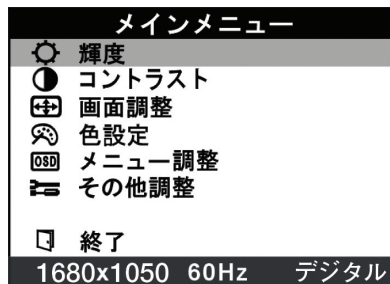
起動や操作には、本機前面の次の3つのボタンを使用します。

・MENUボタン ・-ボタン ・+ボタン



OSDメニューの起動方法と基本的な操作方法は次のとおりです。

- OSDメニューの表示(起動)  
MENUボタンを押すとメインメニューが表示されます。
- メニュー画面/サブメニュー画面の操作  
+、-ボタンで項目を選択し、MENUボタンで決定します。

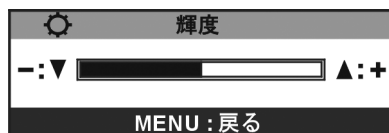


サブメニュー画面の操作は、p.29以降の各項目で確認してください。

### ● 調整画面の操作

+、-ボタンで調整します。

MENUボタンで前の画面に戻ります。



### ● OSDメニューの終了

終了方法は、次の3つです。

- ・ メインメニューで「終了」を選択
- ・ MENUボタンの長押し(2秒以上)
- ・ そのまま放置(初期設定では30秒で終了)

## OSDメニューのロック

OSDメニューの設定を変更されたくない場合は、次の方法で設定をロックすることができます。

**OSDメニューが表示されていない状態でMENUボタンを長押しします。**

「メニューをロックしました」と表示されるまで押しつづけます。

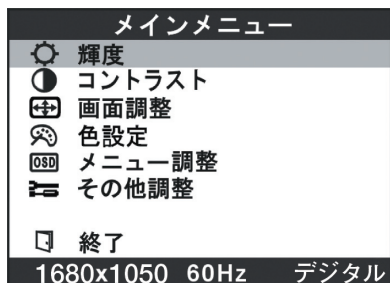
ロックを解除するには、「メニューロックを解除しました。」と表示されるまでMENUボタンを長押しします。

メニューをロックしているときも、画面の切り替えは行えます。

## メニュー画面の詳細

OSDメニューで表示される各メニューの項目を説明します。

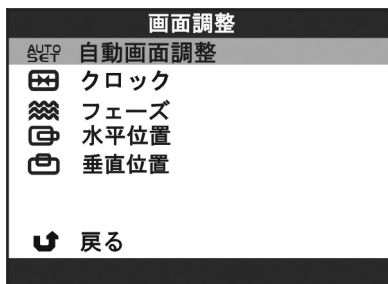
### メインメニュー




メインメニューでは、次の項目を選択できます。

輝度	画面の輝度(明るさ)を調整します。
コントラスト	画面のコントラスト(明暗比)を調整します。
画面調整	画面調整サブメニューを表示し、画面に関する調整を行います。 アナログ入力時のみ選択できます。 ☞ p.29「画面調整サブメニュー(アナログ入力時)」
色設定	色設定サブメニューを表示し、色合いに関する調整を行います。 ☞ p.30「色設定サブメニュー」
メニュー調整	メニュー調整サブメニューを表示し、メニューの表示に関する調整を行います。 ☞ p.31「メニュー調整サブメニュー」
その他調整	その他調整サブメニューを表示し、その他の調整を行います。 ☞ p.32「その他調整サブメニュー」
終了	OSDメニューを終了します。

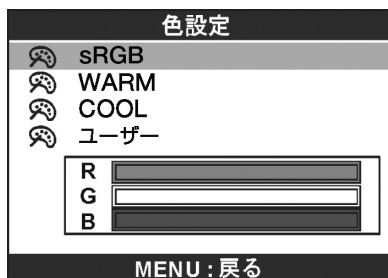
## 画面調整サブメニュー（アナログ入力時）



画面調整サブメニューでは、アナログ入力時に次の項目を設定できます。

自動画面調整	クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に最適な状態に調整します。MENUボタンを押すと実行します。  p.23「自動画面調整(アナログ入力時)」
クロック	表示画面に縦縞状のノイズが入っている場合に調整します。
フェーズ	画面のにじみや、ちらつきがある場合に調整します。
水平位置	表示画面を左右に移動して調整します。
垂直位置	表示画面を上下に移動して調整します。
戻る	メインメニューに戻ります。

## 色設定サブメニュー



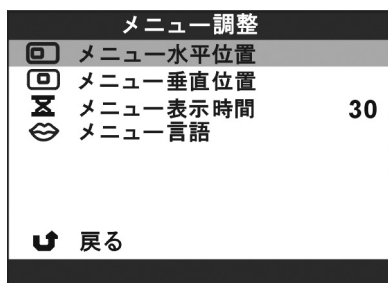
色設定サブメニューでは、色調を次の項目から選択できます。

sRGB	画面表示を標準的な色調にします。
WARM	画面表示を昼光色に近い自然な色調にします。
COOL	画面表示を昼光色より青みがかった色調にします。
ユーザー (R、G、B)	画面表示の初期値です。 「R(赤)」、「G(緑)」、「B(青)」の各設定値を変更して、お好みの色調に調整できます。 色調を調整するには、まず、+ボタン、-ボタンで変更する色を選択し、MENUボタンで決定します。次に、+ボタン、-ボタンで色の設定値を変更し、MENUボタンで決定します。

メインメニューに戻るには、MENUボタンを押します。

ユーザーの色設定(R、G、B)を選択中は、MENUボタンの機能が異なるため、メインメニューには戻りません。

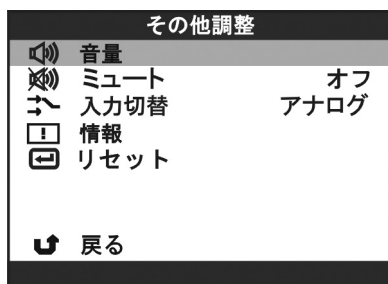
## メニュー調整サブメニュー






メニュー調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

メニュー 水平位置	OSDメニューの位置を左右に移動して調整します。
メニュー 垂直位置	OSDメニューの位置を上下に移動して調整します。
メニュー 表示時間	OSDメニューを表示させる時間を設定します。 5秒から30秒の間で設定できます。 初期値は30秒です。
メニュー言語	OSDメニューの表示言語を設定します。 「日本語」または「ENGLISH」を選択します。
戻る	メインメニューに戻ります。

## その他調整サブメニュー



その他調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

音 量	本機から出力される音量を調整します。  p.25「音量を調節する」
ミュート	本機から出力される音量をミュート(消音)に設定します。MENUボタンを押す度に、ミュートのオン/オフが切り替わります。  p.25「音量を調節する」
入力切替	アナログ、デジタル、HDMIの入力画面を切り替えて表示します。MENUボタンを押す度に、画面が切り替わります。 デジタル接続のみの場合はOSDメニューで切り替えをしないでください。HDMI入力に切り替わると何も表示されなくなります。  p.24「複数のコンピュータの画面を切り替えて表示する」
情 報	解像度、プリセットされているモード(アナログのみ)、入力信号、垂直周波数、水平周波数とその極性の情報を表示します。
リセット	OSDメニューのすべての設定を初期値に戻します。MENUボタンを押すと実行します。
戻る	メインメニューに戻ります。



## ▶ お手入れ

---

本機のお手入れ方法について説明します。

### 外装

本機の外装の汚れやホコリは、水で薄めた中性洗剤を染み込ませたやわらかい布をよく絞って、軽く拭き取ってください。



- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

### 液晶パネル部分

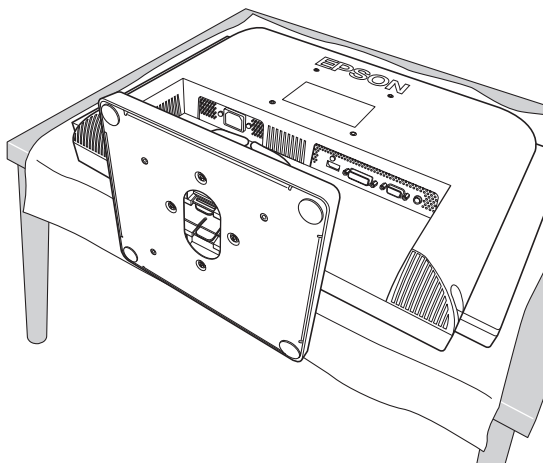
液晶パネル部分は傷つきやすいため、液晶パネルについた汚れやホコリは、乾いた布やティッシュペーパーなどで軽く拭き取ってください。水や洗剤などは使わないでください。

## ▶ 収納するときは

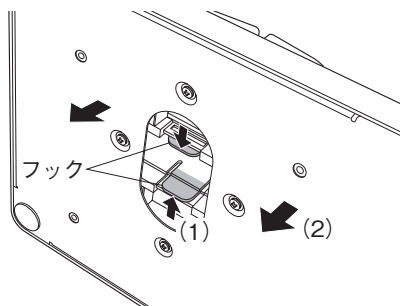
本機を梱包箱に収納するときは、本体からスタンドとケーブルホルダーを外してください。

この作業は、ケーブル類をすべて取り外してから行ってください。

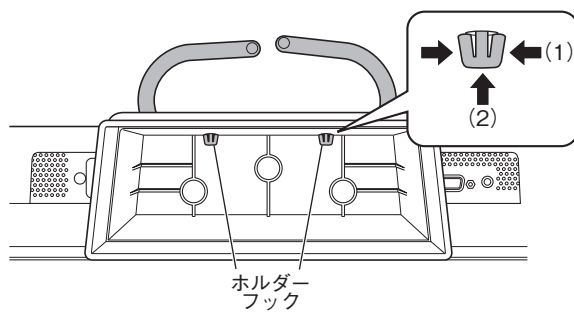
- 1 本機の前面側を下にして、図のように机の上に倒します。  
LCD画面を傷つけないよう、机の上に薄い布などを敷いておいてください。



- 2 スタンドを外します。  
(1)底面上下2個のフックを押しながら、スタンドを底面側にずらして固定を外します。  
(2)スタンドを引き抜きます。



- 3** ケーブルホルダーを外します。
- (1)図のようにケーブルホルダーのフックをピンセットなどでつまみます。
  - (2)そのまま押し上げて穴から外します。
  - (3)もう一つのフックも同様に外します。



## ▶ 困ったときは

---


困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合、参考にしてください。

下記の対処を行っても改善されない場合は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

### 現象 画面に何も表示されない。

#### 確認と対処

- 本機の電源が入っている(電源ランプが点灯している)かどうか確認してください。
- 電源コード、接続ケーブルなどが、正しく接続されているか確認してください。
- コンピュータの電源が入っているか確認してください。
- アナログ入力時は、コンピュータの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。


 p.39「プリセットタイミング(アナログ入力時)」

- 電源表示ランプがオレンジ色に点灯している場合は、本機がスタンバイ状態に入っています。コンピュータのキーボードやマウスなどを操作してみてください。
- 次の場合は INPUT/AUTO ボタンを押して画面を切り替えてください。
  - ・HDMIのみ接続されている場合。
  - ・HDMI接続がない状態で、HDMI入力に画面を切り替えた場合。


### 現象 画面がちらついたり、乱れたりする。

#### 確認と対処


- アナログ入力時はコンピュータの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。

 p.39「プリセットタイミング(アナログ入力時)」

- アナログ入力時は、自動画面調整を行ってください。

 p.23「自動画面調整(アナログ入力時)」

- お使いのコンピュータがリフレッシュレートを変更できる機種の場合は、周波数を変更してみてください。ただし、設定できない解像度とリフレッシュレートの組み合わせがあります。

 p.23「解像度を変更する」

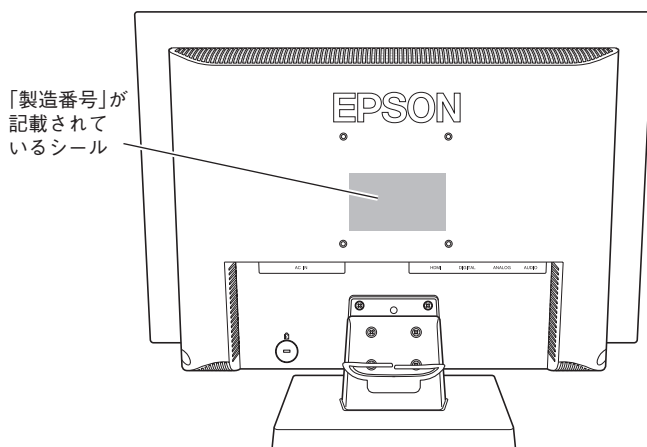
## 修理を依頼する前に

修理を依頼する前に、p.36「困ったときは」およびお使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「ディスプレイの不具合」の内容をよくお読みください。

それでも問題が解決できない場合は、『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧になり、カスタマーサービスセンターへご連絡ください。修理の受付を行います。

なお、ご連絡いただく前に、本機背面に貼られているシールで本機の「製造番号」を確認しておいてください。修理受付の際に、本機の「製造番号」をおたずねすることがあります。

シールの位置は、下記のとおりです。



## ▶機能仕様一覧

サイズ	22.0型ワイド(可視域対角55.8cm)	
パネル方式	カラーTFT	
画素ピッチ	0.282mm×0.282mm	
最大解像度	WSXGA+ : 1680×1050	
最大表示色	約1677万色	
同期周波数	アナログ	水平:30-80kHz/垂直:55-75Hz
	デジタル	水平:30-70kHz/垂直:59-61Hz
	HDMI	水平:30-70kHz/垂直:50-70Hz
最大輝度	300cd/m <sup>2</sup>	
コントラスト比	1000:1	
応答速度	約5ms	
視野角	水平:170° /垂直:160°	
表示画面サイズ(横×縦)	約473mm×約296mm	
調整機能	OSD (On-Screen-Display) OSDメニューロック機能付き	
調整項目	アナログ	輝度、コントラスト、画面調整(自動画面調整、クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置)、色設定(sRGB、WARM、COOL、ユーザー)、メニュー水平位置、メニュー垂直位置、メニュー表示時間、メニュー言語、音量、ミュート、入力切替、情報、リセット
	デジタル/ HDMI	輝度、コントラスト、色設定(sRGB、WARM、COOL、ユーザー)、メニュー水平位置、メニュー垂直位置、メニュー表示時間、メニュー言語、音量、ミュート、入力切替、情報、リセット
入力信号	アナログ	アナログ RGB(同期:セパレート)
	デジタル/ HDMI	デジタルTMDS(DVI 1.0準拠)
入力端子	アナログ	ミニ D-sub 15ピン
	デジタル	DVI-D 24ピン(HDCP対応)
	HDMI	HDMI 19ピン(HDCP対応)
ライン入力コネクタ	ステレオミニジャック	
ヘッドフォン出力コネクタ	ステレオミニジャック	
スピーカ	1.5W+1.5W	
入力電源	AC100V±10% 50/60Hz	
消費電力	58W(最大)/2W(スタンバイ時)/1W(電源オフ時)	
温湿度条件	温度:10~35℃ 湿度:20~80%(結露しないこと)	
外形寸法	約508(幅)×約200(奥行)×約402(高さ)mm	
質量	本体のみ:約5.8kg	
プラグアンドプレイ	VESA DDC 2B	
パワーセーブ	VESA DPMS/DVI DMPM準拠	

## プリセットタイミング(アナログ入力時)

本機には、下記の信号タイミングに対応する最適な画面設定があらかじめ登録(プリセット)されています。



- お使いのコンピュータの解像度などを下記の信号タイミング以外に設定したとき、正常に表示されない場合があります。
- 未対応の信号タイミングが本機に入力された場合、「入力信号仕様範囲外」と表示され、本機はスタンバイ状態に入ります。この場合は、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』—「表示装置に関する設定」をお読みになり、リフレッシュレートを下記のいずれかの垂直周波数に設定してください。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640×480	31.5	60
	37.9	72
	37.5	75
720×400	31.5	70
800×600	37.9	60
	46.9	75
848×480	31.0	60
1024×768	48.4	60
	56.5	70
	60.0	75
1152×864	67.5	75
1280×768	47.4	60
	47.8	60
1280×960	60.0	60
1280×1024	64.0	60
	80.0	75
1360×768	47.7	60

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1440×900	55.5	60
	55.9	60
	70.6	75
1680×1050	64.7	60
	65.3	60



MEMO

## 本機を日本国外へ持ち出す場合のご注意

---

本機は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。

本機の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また国外ではその国の法律または規制により、本機を使用できないこともあります。このような国では、本機を運用した結果、罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 電波障害について

---

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

## 有寿命部品について

---

液晶ディスプレイには有寿命部品が含まれています。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日8時間、1ヶ月で25日間のご使用で、約5年です。これは、あくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。なお、長時間連続使用など、ご使用の状態によっては早期に、あるいは製品の保証期間内であっても、部品交換(有料)が必要となります。

## パソコン回収について

---



当社では、不要となったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/pcrecycle/>

## ご注意

---

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきまして、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 商標について

---

本書に記載の社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

C77499003

**EPSON**